

平成 31 年度 事業計画書

平成 31 年 4 月 1 日から

平成 32 年 3 月 31 日まで

学校法人クラレット学院

認定こども園 うみのほし幼稚園

法人の概要

名称 学校法人クラレット学院(昭和 60 年 2 月 1 日法人設立)
 代表者 理事長 フェリックス・マルティネス
 住所 大阪市旭区太子橋 1 丁目 1 番 27 号
 電話 06-6951-2633
 F A X 06-6955-6988

設置する学校

住所 大阪市旭区太子橋 1 丁目 1 番 27 号

名称 認定こども園あけのほし幼稚園

住所 大阪府枚方市岡南町 3 番 46 号

名称 認定こども園うみのほし幼稚園

役員 理事 6 名
 監事 2 名

評議員 13 名

理事会 3回開催

評議員会 2回開催

1. 事業計画

《教育方針》

一人ひとりの子どもが神様から愛されていることに気付き、人との関わりを大切に、その子らしさを輝かせて生きる。

《教育内容》

子どもが、友達との関わりの中で、人と共にあることを喜び、心を通わせて一つのことを成し遂げていく喜びを感じることができるよう。そして、人の痛みや苦しみに心を寄せ、自分ができることを実行し、その痛みや苦しみを分かち合いたいと思えるような心ある人間が育つように、いろいろな体験の場を設け、素材を準備して、子どもたちの意欲を自習的に引き出せる環境を整える。

《園児・職員人数》

年度	1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			2	20	4	100	4	140	3	105	13	365
29			2	20	4	91	3	96	3	102	12	309
定員	2	20	1	20	4	100	3	100	3	100	13	340
30	2	20	1	20	4	100	3	92	3	94	13	326
31	2	20	1	20	4	88	3	100	3	93	13	321

	教員	教員 パート	教員 派遣	職員	職員 パート	職員 派遣	看護師	合計
29年度末	20	24	2	2	3	2	1	54

30年度末	22 ¹	24 ²	2	2	3	2	1	56
31年度初	22 ³	28 ⁴	1	2	3	2	1	59

* 園長・副園長は含まない

《保育時間》

1号認定	月～金曜日	10:00～14:00
2号・3号認定	月～土曜日	7:00～18:00(保育短時間 9:00～17:00)
延長保育	月～土曜日	18:00～19:00

《納付金》

1号・2号・3号共通

- (1) 保育料.....園児が居住する市町村が定める額とする
- (2) 日本スポーツ振興センター(ケガ等の保険) 200円
- (3) 父母の会会費.....600円(在園弟妹400円)

1号認定

- (1) 環境充実費(上乗せ徴収) 2,250円(年額27,000円)
- (2) 園費(実費徴収) 4,200円(年額50,400円)
(年長のみ4,600円、年額55,200円)
内訳: 教材・行事 950円(年長1,350円)
給食 3,250円(自園給食週5回)
- (3) バス送迎費..... 3,000円(税別・利用者のみ、年額36,000円)
- (4) 入園時
入園予約金.....30,000円
施設協力費(上乗せ徴収)30,000円
バス協力費.....13,000円(税込、利用者のみ)

2号認定

- (1) 給食費(実費徴収)2,000円(年額24,000円)
- (2) バス送迎費.....3,500円(年額42,000円・税別・利用者のみ)
※3号認定利用できません
※長期休園等運行なし
※入園時 バス協力費 13,000円(税込、利用者のみ)

《預かり保育》

通常保育日 月～金曜日

早朝 午前7:00から 1回 100円
保育終了後、～午後5:00 1時間 100円 レギュラー券 3割引
午後5:00～7:00 1時間 200円

長期休業日 月～金曜日 午前7:00分～午後5:00

一日1,000円(給食含)レギュラー券 3.5割引 午前400円
午後5:00以降のお迎え(最終7:00まで)1,300円
当日券 800円

1 1名は育児休業中
2 1名はケガのため休業中
3 引き続き1名は育児休業中
4 引き続き1名は休業中

《未就園児 ーてんし組ー》

- 子育て支援プログラム。2 歳児の親子教室。18 組まで。
 3 クラス。 月・火・金曜日 午前 9:30～11:30。
 1 学期 7,200 円(8 回)
 2 学期 6,300 円((7 回)
 3 学期 4,500 円(5 回)

《地域の子育て支援》

在園児でない、地域の子育て家庭のため。無料。

- ① 「にこにこひろば」
 親子が相好の交流を行う場。園の保育教諭を交えて子育てについての相談や情報交換などができる。
 対象 0才(まだ歩けない子ども)。親子10組まで。
 日時 毎月第1月曜日 10:30～11:30
- ② 「よちよちひろば」
 親子が相好の交流を行う場所を提供し、園の保育教諭を交えて子育てについての相談や情報交換などができる。
 対象 1才(ちょっと歩けるようになった子ども)。親子10組まで。
 日時 毎月第3月曜日 10:30～11:30
- ③ 「わくわくひろば」
 親子が相好の交流を行う場所を提供し、園の保育教諭を交えて子育てについての相談や情報交換などができる。
 対象 2・3才。親子10組まで。
 日時 毎月第2・4月曜日 10:30～11:30
- ④ 「育児相談」と「健康衛生相談」
 未就園児を抱える保護者の育児・子育てに対する不安解決を図るため、保育教諭が個別に相談に応じ、保護者が子育ての喜びが感じられるように支援する。または、子どもの健康や衛生に対し、看護師が個別に相談に応じます。子ども達が毎日を安全に過ごせるよう、こころや身体の成長や発達、病気の早期発見、食事などに関して支援のお手伝いをいたします。
 日時 毎週水曜日 9:30～11:00
- ⑤ 絵本の貸し出し
 お家でも子どもに絵本の読み聞かせができるように園の絵本の無料貸し出し。

《行事実施状況》

- 4 月 入園式、進級式、クラス懇談会、
 5 月 子どもの日祝福式、遠足、マリア様の日、グループ参観
 6 月 内科検診、歯科検診、イチゴ狩り(中)、プール開き、体育指導参観(長・中)
 7 月 七夕、お泊り保育(長)、個人懇談、ほしのご祭り
 9 月 乳児の運動会
 10 月 運動会、芋掘り(長)、遠足、人形劇鑑賞
 11 月 父親参観、七五三祝福式、内科検診、歯科検診
 12 月 イエス様のお誕生日会、サンタの日、キャンドルサービス(長)、卒園生の集い
 2 月 生活発表会、小学校訪問(長)、お別れ遠足(長)、個人懇談、保育参観日
 3 月 卒園感謝の祈り(長)、お別れ会、卒園式、終園感謝の祈り

《施設関係》

園地面積 2,516 m² 運動場面積 1,595 m²

前年度の夏には乳児の子どもが安全に遊べる新しいスペースができましたが、今年度は少しの遊具を購入・設置できればと思っています。

消火栓のためのポンプが老朽化し、使えなくなりました。今の消防法では、消火栓ホースの設備は義務ではなくなりましたが、園舎をより安全なものにするため、その代わりにパッケージ型の消火設備を 3 か所に設けることになりました。

園のほとんどの部屋にある電話機が廃盤となり、部品交換や修理などが難しくなりましたので、主装置も含めて新しいものと入れ替えることになりました。

また、去年から課題となっている駐車場の件ですが、子どもの安全を考えますと園庭での駐車は適切ではありません。不動産を通じて近くの土地を探していますが、今のところ見つかっていません。引き続き探すことにします。

《教育・保育内容》

10 月から無償化が始まるのに、国としてまだたくさんの方が決まっていますが、色々と園の運営や保育には影響があるでしょう。預かり保育はその一つです。1 号児であっても、2 号児になるための条件を満たす場合、1 日 450 円まで無償となることが決まれば、利用者の増加が予想されます。その受け入れのため保育者の増加も必要となります。

前年度の自己評価や保護者のアンケートの結果と園の実態を踏まえた上で本年度の教育目標を次のように決めました。

① 「こころの中に…」

自分が大切にされ、愛されていることが人間としての成長の基礎です。助けてもらったり、教えてもらったり、一緒に遊んでくれたりして嬉しくなることに気づけば、自分の心の中で人に対しても神様に対しても感謝の気持ちが生まれます。年中・年長の年令になると、してもらって自分が嬉しかったようにお友だちを思いやることで幸せが広がることを体験できるように導き相手の心の中も神様がおられることにまで行けたらと願います。

② 「わくわく ドキドキ、 やってみたいことみ～つけた！」

始めてみるもの、気づくことによってわくわくドキドキします。その気持ちを大切に、自分で作りたい、調べたい、やってみたいと思えるように喜んで自ら学ぼうとする姿勢を育てる。勉強による学びは小学校から。幼稚園では、専門用語でいうと非認知的スキルを伸ばすことに力を入れたいと思います。

《事業概要》

1号・2号認定の子ども(幼児)が281名、3号認定の子ども(乳児)が40名のスタートとなります。満3歳児の受け入れを考えています。

新年度は、通常国会に内閣府より子ども・子育て支援法改正案が提出され、10月より幼児教育の無償化が実施される運びとなりました。従って、保護者の園を選ぶ判断基準が一層「教育内容の充実」にスポットが当たるとともに、延長保育を希望することが想定されます。また、幼稚園から保育園や認定こども園(1号児から2号児)への流れが強くなることでしょう。

一方、教職員採用の困難が常態化しているため、安定した教員組織を維持することが出来る園が、継続可能な園となります。

新卒採用の際、一般企業と同じ土俵に立って競争することになっています。また、保護者対応、増え続ける特別支援児への対応など、募集をしても応募が少な

くなっています。

様々な対策(募集時期の前倒し、教育実習の積極的な受け入れ、インターンシップ等)を可能な限り取り組む必要があります。保育の楽しさ、やりがい等仕事への夢を膨らませるような話しかけを考えたい。

予算に関して、教育活動収入計が 285,498 千円、教育活動支出計が 311,312 千円となり、教育活動収支差額 25,814 千円のマイナス。また、教育活動外収支差額が 1 千円のプラス、特別収支差額が 0 千円なので、経常収支差額は 25,813 千円のマイナスとなります。その主な要因は減価償却額の 27,000 千円です。翌年度繰り越し支払資金(年度末資金残高)一年前と比べたら増えていることから、資金繰りには問題ありません。

平成31年度の園児募集については、1号認定子ども80名の確保を目指す。